

## C0006

装飾旗(4枚連)

 $20cm \times 30cm$ 

赤玉ポートワインの宣伝旗。俘虜製作品展覧会のとき、店内装飾に使ったもの

C0007 (画像なし)

軍服上衣(礼装)

所持品

39cm (肩幅) × 60cm (着丈)

松江豊寿所長が着用していたもの

#### C0008

軍服上下

所持品

上衣 42cm(肩幅)× 73cm(身丈)

ズボン 105cm × 83cm

松江豊寿所長が普段着用の軍服。

# C0009

軍帽

所持品

25cm×23cm、高さ8cm

松江豊寿所長が着用の帽子。

#### C0010

軍隊手帳 (松江豊寿)

所持品

13cm × 8cm、114 ページ

#### C0011

学習ノート(仏学訳解手簿)2冊

所持品

 $20\text{cm} \times 16\text{cm}$ 

松江豊寿の士官学校時代のフランス語学習ノート



C0008 から C0011 までを陳列するドイツ館内展示の様子

## C0012

軍隊手帳

所持品

12.5cm × 8cm、44 ページ 板東俘虜収容所で一等看護長だった 人の軍隊手帳



## C0013

俘虜行動規則 Verhaltensmaßregeln für die Kriegsgefangenen 板東俘虜収容所発行物

 $cm \times cm$ 



# 4. 板東収容所以外での印刷物と製作品





#### E0001

収容所紙幣 (1円)

Lagergeld 1 Yen

印刷物

 $8 \text{cm} \times 14 \text{cm}$ 

発行者 Max Grill (マックス・グリル)。

これは板東俘虜収容所内での売買で不足がち 小額紙幣を補う目的で、一捕虜が収容所から の許可を得て発行した代替紙幣。紙幣のデザ インは公募によるが、作者は不明である。印 刷は板東町内の印刷所で行われた。

図版は上が表面。下が裏面。

製菓及西洋割烹講習会案内 印刷物

16cm × 43.5cm 撫養愛国婦人会主催、板東収 容所の捕虜による講習会の案



## E0003

内

「俘虜写真帖」 印刷物 25cm × 37cm 俘虜情報局発行。







# E0004 (上右)

「俘虜生活ニ現ハレタル独逸国民性」 印刷物

 $cm \times cm$ 

俘虜情報局発行、謄写版簡易製本

# E0005

トクシマ・アンツァイガー(徳島俘虜収容所週刊新聞)第 25 号 Tokushima Anzeiger No.25 印刷物

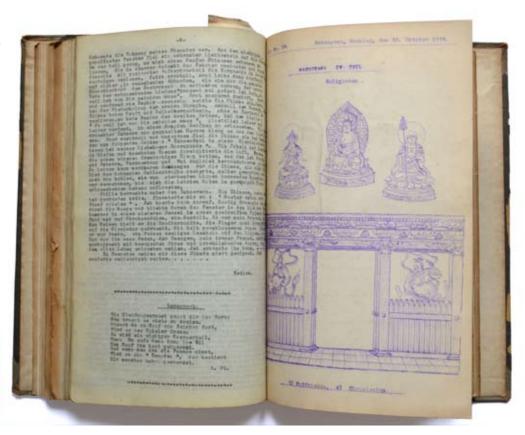
 $27.5 \text{cm} \times 19.0 \text{cm}$ 

徳島俘虜収容所で発行されていた週刊新聞第25号。板東収容所印刷所の印刷物に比べると技法的にはかなり劣るが、2,3色の多色刷りである。

ラーガーフォイアー(松 山俘虜収容所週刊新聞) Lagerfeuer

印刷物

32.7cm × 21.5cm 松山収容所で発行されて いた週刊新聞の全号を製 本したもの。多くはタイ プ原稿からのコンニャク 版複写だが、カーボンコ ピーも見られる。





## E0007

名古屋俘虜収容所 俘虜製作品展覧会カタログ Ausstellung von Kriegsgefangenen-Arbeiten, Nagoya, Japan 1919 印刷物

 $21.7 \text{cm} \times 14.2 \text{cm}$ 

Theaterverein Lager Nagoya 印刷、20 ページ+表紙(表裏)

#### E0008

久留米収容所 俘虜製作品展覧会カタログ Kunst- u. Gewerbe-Ausstellung, 1918, Kurume 印刷物 19.1cm × 13.3cm Holstein, Sprich, Schulz 制作 第3回展覧会のもの。34ページ+表紙(表裏)。石版



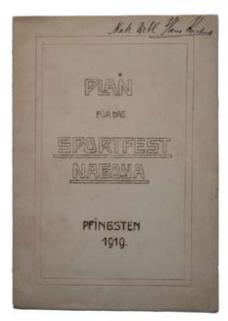
久留米俘虜収容所 概略地図

製作品

 $15.9 \text{cm} \times 21.9 \text{cm}$ 

手書き彩色の地図。

Kriegsgefangenenlager Kurume (Japan) 22.8.1916





## E0010

名古屋収容所 運動会プログラム Plan für das Sportfest Nagoya, Pfingsten 1919 印刷物

 $23cm \times 16cm$ 

鶴舞公園で開催された運動会プログラム。二つ折り、内部にプログラムが 記載

## E0011

名古屋収容所 コンサートプログラム 印刷物 25.5cm×14.1cm 俘虜製作品展覧会の際の音楽会プログラム、二つ折り。ドイツ語日本語併記。 9曲演奏、演奏者記載無し





#### E0012

名古屋収容所、演劇「白馬館にて」プログラム Im weißen Rößl 印刷物 22.7cm × 16.3cm 1919 年 6 月開催。第 18 回演劇公演。



#### E0013 (左)

名古屋収容所 お別れコンサートプログラム

Abschieds Konzert der Lagerkapelle Nagoya, Sonntag, d.30.Nov.

印刷物

 $21.3cm \times 16.2cm$ 

E0014 (右)

版画

製作品

 $20.1 \text{cm} \times 14.5 \text{cm}$ 

3 色刷り版画(テニス風景)、久留 米収容所。



#### E0015

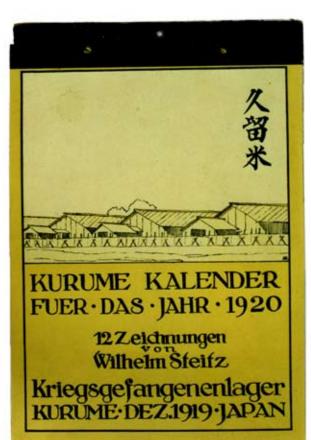
名古屋収容所 お別れ演劇会プログラム

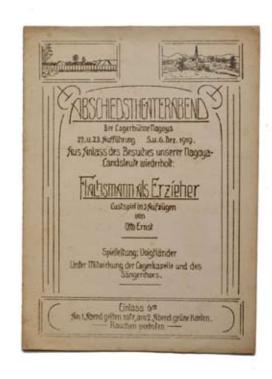
Abschiedstheaterabend der Lagerbühne "Flachsmann als Erzieher", Lustspiel von Otto Ernst

印刷物

 $23.1 \text{cm} \times 16.6 \text{cm}$ 

二つ折り





#### E0016

久留米収容所 カレンダー

Kurume Kalender für das Jahr 1920, 12 Zeichnungen von Wilhelm Steitz

印刷物

26.3cm × 19.2cm、28cm × 19.2cm(台紙)

W. Steitz 作

石版印刷 24 枚+表紙+台紙



感謝状

印刷物

 $38.2cm \times 29.4cm$ 

捕虜への援助を惜しまなかった東アジア在住ドイツ人への捕虜全員 からの感謝状。各収容所の捕虜最高位者のサインがある。



楽譜 Lieder aus 1915

印刷物

34.7cm  $\times$  25.9cm

14 ページ(そのうち楽譜は8ページ)+ボール紙表紙 久留米収容所オーケストラ指揮者の Karl Vogt 作曲の 「1915 年作曲の歌曲集」。

## E0019 (下、右側は中表紙)

楽譜 Vier Lieder

印刷物

 $33.0cm \times 25.4cm$ 

20ページ+表紙

久留米収容所オーケストラ指揮者の Karl Vogt 作曲の「4つの歌曲」。







E0020 楽譜 チター用手書き楽譜20.0cm × 32.0cm青野原収容所捕虜が作成し使用していたチター用の楽譜集



#### E0021

楽譜 チター用 手書き楽譜

 $32.5 \text{cm} \times 24.2 \text{cm}$ 

青野原収容所捕虜が作成し使用していたチター用の楽譜集



## 5. 写真アルバム

#### A0001

写真アルバム ライポルト旧蔵 所蔵品

 $21.5cm \times 24.8cm$ 

エドゥアルト・ライポルトが所蔵していたもの 徳島、板東ほかの写真 182 枚





## A0002

写真アルバム ケーバーライン旧蔵 松山・板東  $1914\sim1919$  年 所持品  $15\text{cm}\times21.5\text{cm}$  写真 33 枚





## A0003

写真アルバム レーレケ旧蔵 1914 ~ 1916 年 丸亀、1917 ~ 1919 年 板東所持品  $18.5 \text{cm} \times 28 \text{cm}$  写真 91 枚





#### A0004

写真アルバム ヴィーティング旧蔵 所蔵品 18.7cm × 27.4cm 中扉の表題は「日本での捕虜生活の思い出、丸亀 1914 年、1915 年、1916 年」 丸亀の写真 66 枚を含む





## A0005

写真アルバム ギュンシュマン旧蔵

所蔵品

 $19 \text{cm} \times 28 \text{cm}$ 

エドムント・ギュンシュマンが所蔵していたもの 青島、徳島、板東、トンガの写真 157 枚





A0006

写真アルバム クロップ旧蔵

所蔵品

 $27.3 cm \times 36 cm$ 

ディートリヒ・クロップが所蔵していたもの 大分、習志野、上海の写真 120 枚





## 参考文献:

Rainer Pöppinghege: Im Lager unbesiegt — Deutsche, englische und französische Kriegsgefangenen-Zeitungen im Ersten Weltkrieg, Klartext Verlag, Essen 2006.

Tokushima~Anzeiger, Kriegsgefangenenheim Tokushima, 1915  $\sim$  1916

 $Die\,Baracke$ , Zeitung für das Kriegsgefangenenlager Bando, Japan. 1917  $\sim$  1919

冨田弘著『板東俘虜収容所 — 日独戦争と在日ドイツ俘虜』法政大学出版局、1991

田村紀雄、志村章子編著『ガリ版文化史-手づくりメディアの物語』新宿書房、1985

志村章子著『ガリ版文化を歩く一謄写版の百年』新宿書房、1995

瀬戸武彦著『青島ドイツ兵俘虜 — その事績・足跡』2009

『欧受大日記、大正 3 年~大正 9 年』陸軍省、1914 ~ 1920

『大正三年乃至九年戦役俘虜ニ関スル書類』陸軍省、1914~1920

『久留米収容所 1914 ~ 1920』 久留米市教育委員会、1999

『ドイツ軍兵士と久留米—久留米収容所 II—』久留米市教育委員会、2003

『ドイツ兵捕虜と収容生活—久留米収容所 IV—』久留米市教育委員会、2007

『特別史料展「ドイツ兵士の NARASHINO-1915-1920 習志野俘虜収容所」展示品図録』習志野市教育委員会、2000

執筆編集 川上 三郎

発行 鳴門市ドイツ館史料研究会 2011年3月